

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

天理市長 並河 健

市町村名 (市町村コード)	天理市 (29204)	
地域名 (地域内農業集落名)	下仁郷 (下仁興)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年7月25日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

【現状】

下仁興地区においては、下仁興集落協定参加者が主たる担い手として地域農業を担っている。農地については、基本的に中間管理機構と契約した農地を認定農業者が受けている。水稻作りに取り組んでいる。

【課題】

担い手の確保、地域の将来ビジョンづくりができていない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻作りを維持しつつ、作業効率性を高めて、将来の方針を決めていく。
また、担い手の受け入れることができる体制づくり(魅力ある地域づくり)を進める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	6.03 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	6.03 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

10年後も耕作が行われるであろう農地を対象とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地を集約し、担い手の圃場の分散化解消に努める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
必要に応じて活用を検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間直接支払制度の活用を行って、魅力ある地域づくりを目指す。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農業従事者の確保の為、受け入れ体制を整える。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
基本的に集落協定で受け入れを検討し、受け入れきれない場合は外部サービスを利用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①現状の活動を維持・向上させる。

③ドローン農薬散布などを継続して活用する。